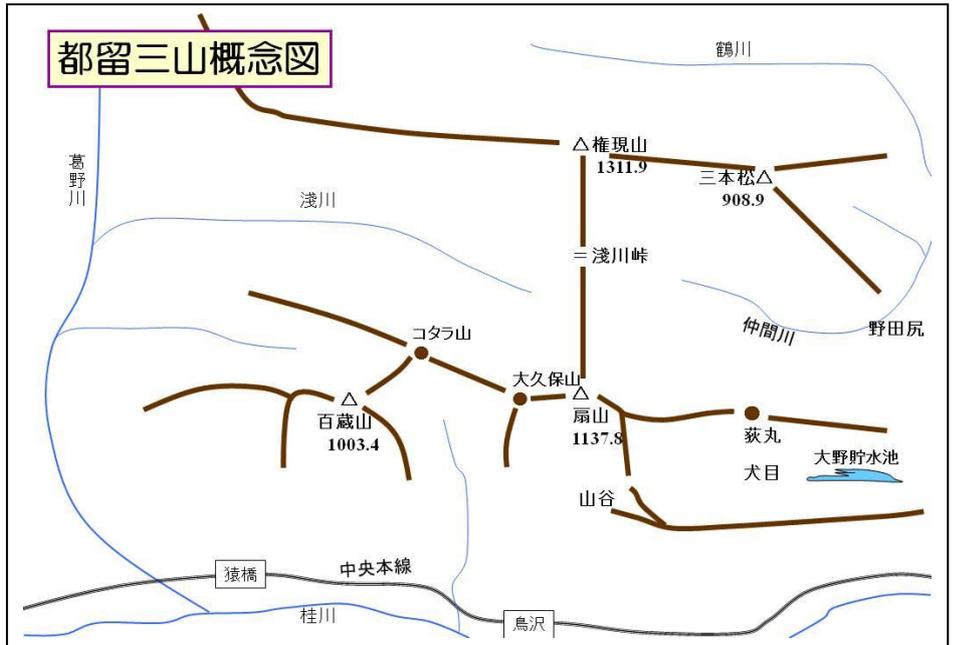


# 踏み跡 <My Mountains>

昭和47年1月17日  
結婚して吉祥寺に住んだので、これまでの国立より少し山から遠くなってしまった。しかし、天気が良ければアパートの窓から富士山を望むことができる最高の住まいを見つけた。  
初めての正月を終えて、雪の翌日夫婦で行く初めての山歩きは都留三山。一番列車に乗ろうと思ったが寝坊してしまい高尾発7時24分に乗車。奥多摩・丹沢は真っ白に雪化粧。連休の中の日で電車は比較的空いている。  
鳥沢駅での下車は8時10分。10分で身支度を整えて出発。  
雪化粧した道志と大菩薩がいきなり目に飛び込んでくる。滝子山のトンガリ頭もなぜか力強く目立つ。



扇山への道の積雪は2, 3cm程度で歩きやすかったが、山頂付近の吹き溜まりでは10数cmもある。扇山11時20分、雪の翌日の澄んだ空気と周囲の素晴らしい眺めに驚きながら昼食。  
東は、東京の都心方面と筑波山、霞が関ビルや東京タワーもくっきりと見える。その手前に相模湖も。南は、道志山塊と丹沢方面。倉岳山、高畑山、赤鞍山、朝日山・・・西は、どっかりと大菩薩山塊。北は、さらに大きく奥秩父の広がりとお行き。勿論富士山は昨日の雪でさらに白くなったその姿に、快晴の強い光を受けて美しい陰影がついて大迫力。東南東方面、平野の真ん中で赤い炎が上がっているの見える、火事だろうか。扇山の眺めの良さを再認識した。双眼鏡でそこかしこを眺めまわして12時に出発。  
百蔵山へ向かい歩き始めたが、扇山西峰の日だまりがあまりにも魅力的だったため、急遽25分間の昼寝。  
百蔵山へ行く人はいないようだ。せっかくのいい山を、モッタイナイ！  
百蔵山15時30分、富士山の真上にあるひと固まりの雲が太陽と付いたり離れたりするたびに山肌に黒い影が付いたり離れたり・・・。自然が演出してくれる素晴らしい瞬間を見逃さず、紅茶とスケッチ。  
豊富にある下山路の中から下和田へのルートを選んで見た。下和田からバスで猿橋へ。  
駅前のラーメン屋に入ってタンメンと肉まんを暖をとって17時53分の電車に。  
食糧を準備するのに一銭もかからなかった代わりに、新婚家庭の冷蔵庫は空っぽになってしまった。

以上

